

# 道標ない旅

自分も人も大切に  
～思いやり  
・チャレンジ  
・しなやかな心～

令和2年度地域版第2号  
2020.5.25発行  
葉山町立長柄小学校  
校長 益田孝彦  
Tel. 046-875-6860  
Fax. 046-876-0682  
<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>



◆◆ 学校再開に向けて、長柄小学校では登校日を実施しています。 ◆◆

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大期に、始業式・入学式を迎えました。その結果、感染防止の観点から登校を自粛され、出席停止扱いを選ばれるご家庭も多くありました。つまり、新入生を含めて一度も学校に登校したことの無い児童がかなりいるのが現状でした。

6月20日から開始した登校日には、元気な児童の姿をたくさん見ることができています。

6月1日からは、授業を再開する予定です。登校再開が新型コロナウイルス感染症の感染拡大に繋がらないよう、学校としても様々工夫を凝らし対応していく予定です。是非安全に学校再開が進行しますよう、皆さまのご支援もよろしくお願い申し上げます。

◆◆ 感染症対策についての留意点 熱中症も十分に留意していく必要があります。 ◆◆

上記学校再開に当たっての感染症対策を取っております。保健衛生用品の準備も、なんとか間に合いそうです。児童が手洗いができる蛇口が、1階には43箇所、2階には37箇所、3階には24箇所あります。その全てに、レモン石けんネットを配備。蛇口2箇所に1コの割合でハンドソープを設置しました。手洗い場が混み合いそうな場合には、アルコールスプレーもこのあと届きますので、準備済みの除菌作業用次亜塩素酸水スプレーとともに、各担任に配布いたします。児童・教職員はマスクを着用し、教室でも間隔を取って着席させます。対面型の机配置は、授業・給食等でも当面行わないでいきます。なお、長柄小学校に階段を登ってくる際には、マスクを外すことを奨励します。(その際、おしゃべりは控えるようご家庭でもご指導下さい。)

さて、私たちでも1日中マスクをつけるのは苦しいものです。熱中症にならないようマスクを外す場面があっても構いません。でも、自分がマスクしているときにそういった子を見ると、攻撃的にとがめようとする行為が起ることがちで、いじめの誘発起因になりかねません。マスクを外しても、大声で顔を近づけて話しかけたりしなければ良いのだと、ご家庭でも伝えてあげて下さい。学校でも、学校教育目標の「思いやり チャレンジ しなやかな心」を確認しながら、優しい心でこの難局に立ち向かう姿勢を育てていくよう努めます。

地域の方々におかれましても、原則1日中マスクをしていなければいけない子どもたちの置かれた立場にご理解いただき、温かい目で見守り・ご支援いただけると幸いです。

◆◆ 学校校庭の開放は、5月19日までで終了となります。 ◆◆

町全体の決定事項となります。何卒ご理解ご容赦お願い申し上げます。そして、事故無く終了できそうなこと御礼申し上げます。

◆◆ 身近なところで、学ぶべき崖崩れが起きました。 ◆◆

4月下旬、南郷中学校入り口坂道付近で大雨の影響で土砂崩れが発生しました。写真は、崖崩れから1週間ほど後のものです。現在は、岩や土砂を止める金属フェンスが完成し、バス等の車両の通行規制も解かれました。今回一体どんな雨がこの辺りに降ったのでしょうか？実は、私を知る限り少なくとも3箇所この一帯で土砂崩れが起っています。

写真の山は100mほど逗葉新道側にずれた場所では、もっと大きな土砂崩れが発生しています。

南郷中学校校長時代には、全く気づくことなく通行していました。崖崩れ事故の後行った安全点検でも、この山肌が、実は写真のように岩の上に土砂が乗っている地形だったとは、崖崩れ現場を見るまでは気がつきませんでした。木や植物で見えなかったのです。大雨が理由だったのか理由は分かりませんが、参考にしたいと思います。



◆◆ インドで、巨大サイクロンとコロナウイルスの鉢合わせが起こりました。 長柄小では・・・ ◆◆

最近なんとなくですが、震度3以上の地震が続いている気がしています。 また台風シーズンを迎えると、昨年同様に避難所開設の機会があるかも知れません。

最近のTVでは、コロナウイルス感染症蔓延下での心配事として、避難所の話題が上がっていました。

そんな中、インドでスーパーサイクロン襲来下でも、コロナウイルスが心配で避難できなかった人々がいることが報じられました。

だからこそ、長柄小学校では、現状で避難所開設を迎えた場合、避難者の受入は、感染拡大を防ぐため、体育館にとどめず、校長室・職員室・保健室・給食室・家庭科（調理）室等を除く、校内全ての教室を使用して受け入れることを職員会議にて決定いたしました。

普段であれば、児童の応急教育の再開のため、教育再開がすぐに始められるよう、児童が使っている教室等は、開放に使用せず、確保するのが原則です。普通教室以外で提供できる範囲で、開放計画は作っています。しかし、この原則では、避難者の密状態の軽減は図れません。だからこそ、上記の決定がなされました。

実際に避難した場合には、密を極力防ぐ方針で、分散できるよう避難場所を指定する予定です。その際は、具体的な指示を守り、なるべく分散して避難所生活を送って下さい。

これは感染拡大を防ぐための緊急措置であります。教室を使用して頂いている限り、児童のための応急教育の再開は出来ません。

不安におびえる児童の心を安定させるには、応急教育を再開することが一番大切とされています。全体の状況をよく把握しながら、次第に教室使用を切り上げて頂く指示をさせていただくことにはなると思いますが、何とぞよろしくお願い申し上げます。



下は、見直す可能性はありますが、現時点での開放計画です。この図の普通教室等を活用する予定です。

